



なんたん市議会だより

かけはし

No.71 / 2023.11



Contents

- 『頑張る人たち』訪問
美山せっけん友の会 ～みずすまし～
- 9月議会ではこんなことが決まりました
- 常任委員会ではこんな議論になりました
- 決算特別委員会で令和4年度の決算審査を行いました

「美山せっけん友の会 ～みずすまし～」の皆さん
左から、高野あい子さん、登尾まゆみさん、田中知美さん、
下野カズエさん、山内富美子さん、小林節子さん

訪問 『頑張る人たち』

美山せっけん友の会 ～みずすまし～

- | | | |
|----|------------|--------------|
| 代表 | やまうち
山内 | ふみこ
富美子さん |
| | しもの
下野 | カズエさん |
| | こばやし
小林 | せつこ
節子さん |
| | たかの
高野 | あい子さん |
| | たなか
田中 | ともみ
知美さん |
| | のぼりお
登尾 | まゆみさん |

30年近くにわたり美山川の水質浄化を目指し、水質汚濁の原因の一つである合成洗剤の使用を少しでも減らすために廃食油(天ぷら油)から「粉せっけん」と「固形石けん」を製造し販売されている皆さんを訪問しました。



作業前の準備

美山川が今の状況よりも悪くならないように、石けん作りを通して啓発活動に努めます。

どのような活動をされていますか

平成6年に会を設立し、試行錯誤しながら「粉せっけん」と「固形石けん」を商品化することができました。美山町内のお店などで販売しているほか、河川に優しい石けんを使用していただく機会になればと、出産祝いとして「粉せっけん」と「固形石けん」をお渡ししています。また、美山町環境保全対策協議会に参加し啓発活動に協力しています。

活動を始められたきっかけは

当会は、婦人会活動で学んだことを実践しようとして相談し、当時の美山町環境課に呼び掛け結成しました。その頃美山町では「美しいまちづくり条例」が制定され、合成洗剤による河川の汚染や人体への影響も問題視されていました。自然を守り体に優しい石けんを廃食油で作ろうと会員を募り、行政からは必要な器具、施設を整えていただき、先進地への

今後の展望をお聞かせください

視察研修などとあわせて活動を始めました。会員たちは年々歳を重ね、先々の活動に不安を抱えています。この活動の意義を理解し、継続していかねばならないと、共感していただける方がおられるなら、会員と共に活動を始めませんか。ぜひ一度、作業の現場をご覧ください。

南丹市のまちづくりについて、どう思われますか

南丹市には美山川と桂川が流れています。合成洗剤がよく使われるようになり、手や肌が荒れる人が増え、川にも泡が溢れて消えなくなり、魚やホタルは少なくなっています。川は汚れていくばかり。そんな中で私たちは、廃食油で体にも環境にも優しい石けんを作って30年近くになります。この無添加石けんに一人でも多くの方に関心を持っていただき、南丹市の美しい山や川を守っていきましょ。

南丹市や議会に望むことは

南丹市の中でも、美山町は観光客は多いものの、高齢化で悩んでいます。当会も後継者ができることを望みながら作業しています。作業の工程で水道を使いますが、洗い場が外にあり、雨が降った時や寒い季節でも、洗い物は全て外で冷たい水でしなくてはなりません。室内に湯沸かし器の付いた洗い場を設置していただければ大変ありがたいです。自然豊かな環境がいついつまでも残ることを望みながら製品作りに励んでいきます。



苛性ソーダーを注入



廃食油の分量測定



固形石けん (完成品)



粉せっけんの製造作業

全会計の決算を認定

一般会計 支出総額236億3269万円 黒字決算

こんな事業に使われました

スクールバスの運行や新型コロナウイルス感染症対策、八木西小学校体育館トイレ兼倉庫の建築など



八木西小学校のトイレ兼倉庫



集団ワクチン接種会場

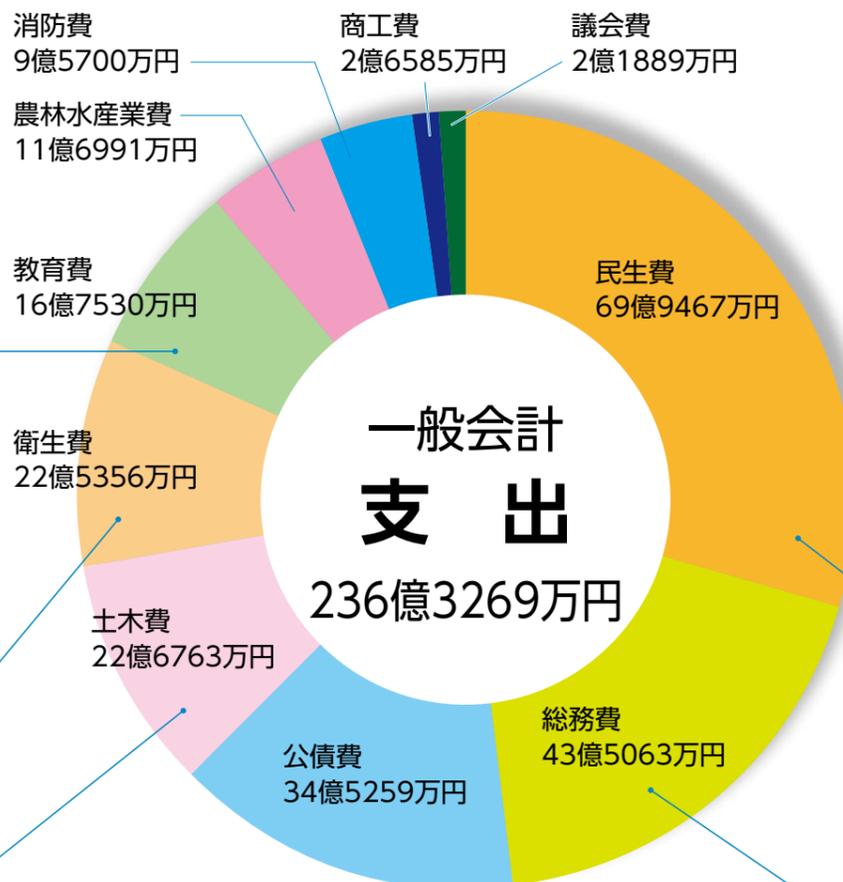
新型コロナウイルスワクチン接種や、船井郡衛生管理組合及び南丹病院組合への負担金など



道路改良が進んだ美園栄町線

都市計画街路美園栄町線や市道11路線の道路改良、道路・橋梁等の維持修繕など

一般会計及び各特別会計の決算総額は、歳入（収入）335億3520万7853円、歳出（支出）322億6471万6089円で、収入から支出を差し引いた形式収支額は、12億7049万1764円。このうち、翌年度に繰り越すべき財源1億8521万4000円を差し引いた実質収支額は、10億8527万7764円の黒字決算です。



9月定例会は、8月28日に開会し、44日間の会期を終えて10月10日に閉会しました。

今定例会には、条例関係3件、補正予算5件、決算関係10件など全部で22件の議案が提出され、常任委員会や決算特別委員会に付託して審査したのち、本会議で採決を行いました。結果、すべての議案を原案どおり可決・認定等しました。ここでは、決算の概要をお知らせします。



経済支援の一つとして支給された市商工会商品券

コロナ禍や物価高騰で家計に特に影響を受けた低所得世帯やひとり親世帯などに対する経済的支援など



建設中の新庁舎

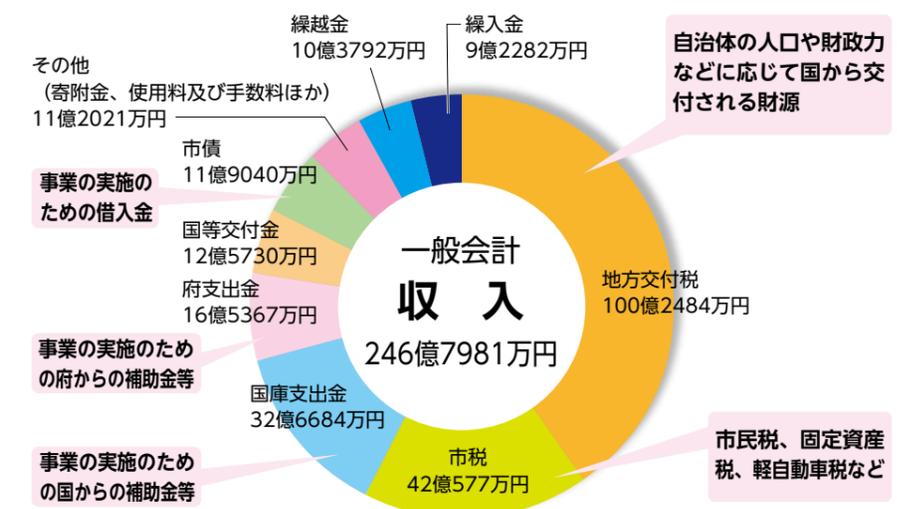
新庁舎の建設や国際交流会館の大規模改修、定住促進対策など

会計別決算額の状況

会計	収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	実質収支 C-D
一般会計	246億7981万円	236億3269万円	10億4712万円	1億8521万円	8億6190万円
特別会計					
国民健康保険(事業勘定)	36億3830万円	36億2130万円	1700万円	0	1700万円
国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億8540万円	1億8540万円	0	0	0
介護保険	43億9493万円	42億109万円	1億9383万円	0	1億9383万円
市営バス運行	6291万円	6291万円	0	0	0
土地取得	5万円	5万円	0	0	0
後期高齢者医療	5億7378万円	5億6124万円	1253万円	0	1253万円
合計	335億3520万円	322億6471万円	12億7049万円	1億8521万円	10億8527万円

※1万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがあります。

区分	収入 A	支出 B	差引 A-B=C	翌年度繰越額 D	損益計算による当年度純利益(税抜き)
公営企業会計					
水道	10億1001万円	9億9046万円	1955万円		381万円
	3億8590万円	9億6274万円	△5億7684万円		
下水道	26億6624万円	24億4313万円	2億2310万円		2億2088万円
	9億3848万円	17億9688万円	△8億5840万円		



事業の実施のための府からの補助金等

事業の実施のための国からの補助金等

自治体の人口や財政力などに応じて国から交付される財源

市民税、固定資産税、軽自動車税など

決算特別委員会では、こんな議論になりました

決算特別委員会とは？

一般会計、特別会計、企業会計の決算を審査するために設置される特別委員会のことです。

決算特別委員会では、3つの常任委員会と同じ構成で分科会を設け、詳しく審査します。ここでは、その概要をお知らせします。

事業効果などを慎重審査

決算は、総務、産業建設、厚生各分科会で審査。財源の確保や予算との整合性、事業効果などについて慎重に審査しました。

主な質疑は、まちづくり協働員の活動や25年間続いた山村留学事業の成果、丹波サイクルルート路面標示工事の財源、経営が厳しい下水道事業の今後の取り組み、マイナンバー交付促進事業で実施した商品券給付の地域経済活性化への効果、国保会計への一般会計繰入金が予算額の約半分となったことの評価—についてなど、多岐にわたって活発な質疑が交わされました。

委員会全体会では「地方交付税、市民税について市長のこれまでの説明と決算額との違いについて」「や「婚活と少子化対策の関連性と行政が婚活事業をする

ことの妥当性について

「介護保険料等の徴収金額の誤りに対する監査委員の見解について」などの総括質疑がありました。

その後、各分科長の審査報告のち、討論はなく、表決に入り、一般会計と国民健康保険事業特別会計の決算は賛成多数で、その他6会計の決算は賛成全員で、認定されました。

本委員会の審査で各委員から出された指摘や意見については、適切に対応され、次年度の予算編成において十分に反映されるよう強く望むものです。



まちづくり協働員の役割は

Q まちづくり協働員の活動の成果は。

A 21人のまちづくり協働員を委嘱し、旧町ごとにさまざまな意見交換や協議を行った。その中で「園部駅の観光案内表示の検討や、京都サンガFCのホームタウンデーの際、JR利用促進の観点から、八木駅近くの京都中部総合医療センターの職員駐車場をパークアンドライドとして活用しては」との提案があり、実施につながった。

長きにわたる山村留学が終了

Q 25年間の山村留学事業が、本市や地域にのこした成果は。

A 複式学級解消を目的に、都会から子どもたちを招き入れたもので、知井小学校が活性化された。地域の方



思い出の詰まった山村留学センター

が一致団結し、協力のもと

生活と共にされてきたことが、知井地区振興会の活性化の取り組みにつながっていると考える。

定住促進は進んでいるか

Q 定住促進事業の分析は。

A 移住相談件数、空き家の活用件数が伸びているということから、移住の件数は増加傾向にあるといえる。移住相談件数は、4年度は819件で過去最高であった。コロナ禍以前から移住相談件数が増加していたが、コロナ禍が若干後押ししたと分析している。

産業建設 分科会

朝倉山椒の生産状況は

Q 特用林産振興事業における朝倉山椒の生産状況は。

A 園部町農業公社に苗木の講習会や無料配布を含めて業務委託をしている。過去2年間で朝倉山椒の苗木を講習会参加者に2本配布している。今後は、苗木購入に対する補助金等も検討していかななくてはならない。

企業ニーズアンケート調査の結果は

Q 企業誘致推進事業において、企業ニーズアンケートの結果は。

A 関西圏を中心に調査を行ったが、全国的にも実施し、回収率は3・3%であった。高速道路のインターチェンジに近いことが評価されたが、安定的にこの地域で雇用が確保できるのかという点については、厳しい意見もあった。



成長した朝倉山椒の苗

下水道事業の厳しい状況はどうなる

Q 経営が大変厳しい中、市民に負担をかけることになるのか。

A 水道事業の目処が立った段階で内部でしっかりと検討し、その後、市民や使用者の皆さんの意見を聴く場を設け、審議会を開催する。料金改定をする場合は、条例改正を行う流れになる。

厚生 分科会

高齢者除雪対策事業

Q 除雪の委託事業者の確保の状況は。また、園部・八木地域でも事業対象になるか。

A 除雪の事業者は、委託単価が低い中、利用者の近隣に於ける団体・個人で、助け合いの気持ちで取り組んでもらっている。事業者の確保は、事業者の高齢化もあり年々厳しくなってきた。受託される事業者があれば園部・八木でも事業は可能である。

交付促進事業の経済効果

Q マイナンバーカード交付促進事業の商品券交付による地域経済活性化効果はどうか。

A 高齢者生活支援分と子育て家庭支援分を合わせて、2億5千万円分の商品券を交付し、2億4千万円が換金された。



Pick Up!
4

大規模な八木バイオエコロジーセンターの修繕工事

この施設では、家畜ふん尿と食品廃棄物をメタン発酵させて発生する「バイオガス」で発電し、施設内の電力を賄い、余った電気は売電しています。また、ガスを発生させた後の液を肥料として再利用しています。今回、施設の老朽化等により修繕工事を行います。予算額1億868万円の増額



八木バイオエコロジーセンター

Pick Up!
5

森林資源の再生・保全に向け、里山再生整備予算を拡充

森林の多面的機能の維持・増進につなげるため、集落に隣接する里山の不要木の整備を行い、人家裏等の危険木及び崩土等の除去を行います。予算額436万円の増額



整備された里山（美山町大野）

Pick Up!
6

市道横田小山東町線の歩道整備

市道横田小山東町線の歩道において、歩道の横断勾配が急な箇所があり、歩行者や車いすなどの通行に支障があるため改良を行います。予算額1千万円



整備予定の横田小山東町線歩道

Pick Up!
7

子ども家庭サポートセンターに送迎車両を導入

子ども家庭サポートセンター「Ruri」は、第三の居場所として、園部小学校と園部中学校の児童・生徒を対象に運営されてきましたが、園部第二小学校及び八木地域の児童・生徒も対象に加えたことから、児童・生徒の送迎用の車両を導入するものです。



子ども家庭サポートセンター「Ruri」

9月議会では こんなことが 決まりました

会期 8月28日～10月10日

- ◆ 報告・・・・・・・・ 2件
- ◆ 議案・・・・・・・・ 22件

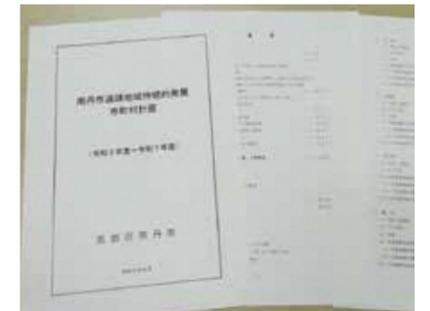
議会が注目した主な事業

今号では、この中から次の7つをピックアップします。

Pick Up!
1

過疎地域持続的発展市町村計画の変更を議決

過疎地域持続的発展市町村計画に掲げる事業に「共通投票所の開設」「電子申請等の導入」「ドローンを活用した物資の配送」「廃校校舎等の不要市有施設の解体撤去」を追加します。



過疎地域持続的発展市町村計画

Pick Up!
2

小中学校の空きスペースを整備

子供たちがより一層本に親しめるよう、学校の空きスペースを、小学校では読書スペースに、中学校は個別学習ブースに、それぞれ整備します。



学校のコンピュータールームを整備して読書スペースに

Pick Up!
3

宝くじ文化公演の開催が決定

宝くじ文化公演「歌園迎賓館」が、令和6年2月3日、市園部文化会館（アスエルそのべ）で開催されます。NHK交響楽団の生演奏で、3人の歌手の出演が予定されています。



会場となるアスエルそのべ



常任委員会では、 こんな議論になりました

〈主な質疑のみ掲載しています。〉



どんな常任委員会がある？

南丹市議会には、委員会条例で定められた3つの常任委員会があり、委員の任期は2年です。各常任委員会の所管は次のとおりです。

総務常任委員会

市長公室、総務部、地域振興部、出納課、議会事務局、監査委員、公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、教育委員会

産業建設常任委員会

農林商工部、土木建築部、上下水道部、農業委員会

厚生常任委員会

市民部、福祉保健部



産業建設常任委員会

八木バイオエコロジーセンターの機械の修繕

Q 機械の修繕は計画を立てて行うべきではないか。

A 修繕計画についてはなかなか難しいのが現状である。今後、修繕計画を立てていくようにメンテナンス業者、指定管理者の農業公社と話をしている。しかし、平成10年の建設から25年が経過しており、いつ壊れてもおかしくない状況にある。

JR園部駅西口広場、危険防止の工事実施

Q 園部駅西口の工事は緊急度が高い工事なのか。

A 駅前広場はタイヤ張りになっており、駐輪場へ向かう階段部分の角が破損して危険が伴うということで、早急に対応する必要があるため。

道の駅「美山ふれあい広場」駐車場整備
Q 道の駅駐車場はどこにできるのか。
A 予定地は、美山ふれあい広場の中のお祭り広場というスペースである。イベント会場としてはあまり利用されていないので、駐車場として使用する。イベント開催の時には、会場として利用する。



広場を舗装し駐車場として活用

総務常任委員会

広大な市域に対応できるまちづくりを

Q 南丹市過疎地域持続的発展市町村計画の変更内容は。

A 国が定めるデジタル田園都市国家構想を推進していくため、他市町で実施されている「共通投票所の開設」「電子申請の導入」「ドローンを使った輸送」などを追加した。広大な市域を抱える本市でも活用していけないかと考える。

小中学校に読書スペースを

Q どのような読書スペースが整備されるのか。

A 子どもたちが、より一層本に親しめるよう、使用されていないコンピューター室を読書に利用できるスペースにするものである。小学校では扇形書架とベンチ付の直線型書架を自由にレイアウトして利用する予定。中学校は、仕切

られた個別ブースを設置予定。

神吉自治会館の備品を購入

Q 自治振興会館の備品は市が整備するのか。また、調達方法は。

A 市有施設の備品は、市が整備する必要がある。シューズボックス、机、いす、冷蔵庫などを市内業者から調達する。



神吉自治会館完成予想図

厚生常任委員会

子ども家庭サポートセンターに送迎車両を購入

Q 子ども家庭サポートセンター車両の利用者は。

A サポートセンターは、開設当初、徒歩圏内の園部小学校及び園部中学校を対象としていたが、当施設の設置に支援をいただいたB&G財団から対象エリアの拡大が求められ、園部第二小学校及び八木地域の児童・生徒も対象とした。

日吉・美山の児童・生徒の利用は

Q 日吉、美山地域の支援が必要な児童・生徒は、子ども家庭サポートセンターの利用はできないのか。

A 日吉、美山地域の児童・生徒は、利用の対象とはしておらず、現有資源を活用して支援する。

南丹みやま診療所の電子カルテのシステム改修

Q 南丹みやま診療所の電子カルテのシステム改修の目的は。

A パソコンを2台購入するが、マザーボード用と遠隔診療用のソフトが入ったパソコンを購入するもので、京都中部総合医療センターとのシステム統合を目指すものではない。



子ども家庭サポートセンター「Ruri」

■ 4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

賛成

新誠会
面村 好高 議員

事業勘定は基金からの繰入れが約1700万円、基金への積み立てが約1800万円、実質収支が約1700万円となり、黒字決算で収支バランスがとれた良い決算である。直営診療施設勘定については、赤字補填額にあたる一般会計からの繰入金、3年度は約5300万円であったものが約2600万円となり、半減していることを評価する。

反対

日本共産党南丹市議会議員団
河野 啓介 議員

決算は歳入、歳出ともに昨年度比マイナス2895万円となった。市長は「入院休止による運営経費減少がマイナスの理由」と分析したが、入院と救急受け入れ休止、外来診療数減少で示されるとおり、住民にとって使い辛い診療所になり現状は深刻。医療に対する不安が人口の減少に拍車をかけており、本市が掲げる「定住促進」にも反している。

附帯決議



附帯決議とは？

議案に対して議会としての意見や要望を表明する決議のことです。

5年度南丹市一般会計補正予算（第3号）における「八木バイオエコロジーセンター」の工事請負費の増額（108,680千円）について、附帯決議を可決しました。内容は次のとおりです。

1. 八木バイオエコロジーセンターの運営には、経営的な視点で取り組み、中長期戦略を樹立し、収入の確保や経費の圧縮を進め、収支バランスを図ること。
2. 施設建設以来、25年が経過し、今日まで多くの設備の修繕費が計上され、施設が維持されてきた。今後は、専門家等の意見を取り入れ、メンテナンス計画を立てることにより、計画的な運営を進めること。
3. 今後の施設のあり方については、国や府の財源確保と新技術の積極的な導入を図るとともに、民間活力の導入も含めた経営主体の抜本的な見直しをされたい。

討論



討論とは？

議会の討論とは、お互いに議論を交わし合うことではなく、自らの意見を表明し、賛否の理由を述べることにより自分の意見に同調することを他の議員に求めることです。

■ 5年度一般会計補正予算（第3号）

賛成

新誠会
面村 好高 議員

空き教室を読書スペースに改造する読書環境整備事業は、子供たちの言語力の低下を防ぎ、豊かな人間性の育成などにつながる事が期待できる。また、少子化を見据えた部活動地域移行事業は、少人数校の生徒に試合などの機会を保障する事業で評価する。バイオエコロジーセンターについては、今後経営の民間移行等、本市の負担軽減の検討を指摘する。

反対

日本共産党南丹市議会議員団
小林 毅 議員

八木バイオエコロジーセンターのメタン施設を、1億円余を投じて改修する予算は容認できない。3月市議会の代表質問で、この6年間で平均毎年1億1千万円の税金投入が紹介されている。また、「一部の方への利益のためにやっているのではないか」という声も聞こえてくる。こうした指摘もなされている。施設の存廃も含めた検討が先決である。

■ 4年度一般会計歳入歳出決算認定

賛成

新誠会
樋口 浩之 議員

財政のさまざまな課題を抱える中、主眼を子供たちに受け継ぐ未来に置くことが重要である。市民協働推進事業では、まちづくり協働員を配置し、学生や主婦などを交えた意見交換が行われ、市民同士の対話から未来を考える機運を醸成することができた。長期を見据えた投資的発想と、持続可能な財政構造の構築を要望として付け加え賛成討論とする。

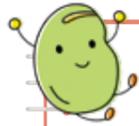
反対

日本共産党南丹市議会議員団
小林 毅 議員

大局的な点を指摘する。①市発足17年で総職員数は109名減った。そんな中、1月の大雪対応や介護保険料等の徴収誤り3329件の発生等、深刻な事態が発生した。人件費抑制路線の総点検が必要だ。②市発足17年で、起債（借金）残高は135億円余減った。基金（貯金）残高は、20億円以上の積み増し。市民への大ナタはやめるべきだ。

3日間15人の

一般質問



市議会の豆ちしき

- Q 議長・副議長はどうやって決まる？**
A 議長と副議長は、議員の中から議員同士の選挙によって選ばれます。
- Q 議長・副議長はどんなことをしている？**
A 議長は、市議会を代表し、議会の秩序を保ち、議事の整理をしたり、議会の事務を処理します。
 また、市議会を代表してさまざまな会議に出席したり、他の機関と協議を行います。
 副議長は、議長が不在のときや欠けたとき、議長に代わって職務を行います。



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長等に対して質問を行います。
 (P15~22の記事は各議員から提出された原稿を質問順に掲載しています。)

▶ 動画視聴できます！

市議会ホームページの「議会映像配信」にアクセスするか、スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってご覧ください。



Q 政治分野での男女共同参画の取り組みの現状は

A 本市の取り組みは、遅れているのが実情である



活発な質疑がなされる女性議会(小野市)

つなぐ **よしだ 吉田** **ひろこ 尋子** 議員



- Q** 政治分野での男女共同参画の取り組みは、遅れているのが実情である。
- A** 女性の割合は23・9%で、2年度と比べ微増だが、女性委員が少ない委員等もある。団体等からの選任に女性の割合が少ない。
- Q** 他自治体のような女性委員を増やす具体策が必要ではないか。
- A** 女性の候補者づくりの取り組みを担当部署が中心になり行いたい。
- Q** 第2次男女共同参画行動計画では審議会、委員会等の女性議員の割合の目標を30%としているが、現状と問題点は。
- A** 3年度実績では、44の審議会、委員会等の女性の割合は23・9%で、2年度と比べ微増だが、女性委員が少ない委員等もある。団体等からの選任に女性の割合が少ない。
- Q** 他自治体のような女性委員を増やす具体策が必要ではないか。
- A** 女性の候補者づくりの取り組みを担当部署が中心になり行いたい。
- Q** 政治分野での男女共同参画の取り組みは、遅れているのが実情である。
- A** 本市の取り組みは、非常に遅れているのが実情。市内の女性で活動を一生懸命されている方に研修会にご参加いただけるような取り組みを今後考えていきたい。
- Q** 兵庫県小野市では市長の強い思いから、女性リーダーの育成や意見発表の場である「女性議会」に取り組み、多くの女性議員が誕生した。本市ではどうか。
- A** 男女が共にまちづくりをするため、学びの場、女性が活躍できる環境づくりが必要である。

その他の質問

・日吉木住地内の市有地について

賛成全員で可決した議案

案 件	結果
南丹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
南丹市立障害者支援施設条例等の一部改正	
南丹市過疎地域持続的発展市町村計画の変更	
訴えの提起	
5年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
5年度南丹市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
5年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	
5年度南丹市水道事業会計補正予算(第2号)	
4年度南丹市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
4年度南丹市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
南丹市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	認定
4年度南丹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	
4年度南丹市市営バス運行事業特別会計歳入歳出決算認定	
4年度南丹市土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定	
4年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	
4年度南丹市水道事業会計決算認定	
4年度南丹市下水道事業会計決算認定	
4年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	
4年度南丹市水道事業会計決算認定	
4年度南丹市下水道事業会計決算認定	
五ヶ荘財産区管理委員会委員の選任	同意

賛否の分かれた議案

〈○は賛成 ×は反対〉

会 派 名	議員名	つなぐ										新誠会			活緑クラブ			日本共産党	公明党	新風会	
		谷尻 宣雄	小中 昭	吉田 尋子	山下 秋則	谷尻 昌史	前田 義明	仲村 学	西村 好高	堤 博明	樋口 浩之	八木 信樹	若井 睦巳	村山 好明	下間 康広	河野 啓介	小林 毅	平田 聖治	木戸 徳吉	塩貝 孝之	木村 裕
5年度南丹市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4年度南丹市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4年度南丹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5年度南丹市一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 認知症基本法が成立したが、本市の取り組みは

A 基本法に定める共生社会実現に向け取り組む



公明党 **木戸 徳吉** 議員



Q 本年5月、認知症基本法が全会一致で可決・成立した。認知症の人が希望を持って暮らせるように、国や自治体の取り組みを定めた法律である。国内の認知症の人は、厚生労働省の研究によると、2025年には700万人になると推計している。高齢者のうち5人に1人である。所見は。



共生社会の実現に向けて

その他の質問

- ・政治分野での男女共同参画について
- ・安掛・上平屋バイパスの推進について

A 認知症は誰もがなり得るものである。自分や家族が認知症になることを含め、今や多くの人にとって身近なものとなっている。そうした中で、認知症が正しく理解され、認知症当事者の尊厳が保たれることで、安心して暮らし続けられる共生社会を掲げる法律の成立は社会全体の意識の改革につながっていき、大きな意義があると考えている。

Q 今後の取り組みは。

A 本市では高齢者の福祉計画や、介護保険の事業計画などで、京都市オレンジプラン等に基づき認知症施策を進めている。また、本市では近隣に先駆けて2年4月に南丹市権利擁護成年後見センターを立ち上げた。今後も基本法に定める共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

Q 八木バイオエコロジーセンターの運営状況は

A 経営的に利益を出す事業になりきっていない



新誠会 **つみ 博明** 議員



八木バイオエコロジーセンター(YBEC)

Q 八木バイオエコロジーセンターの運営で消化液の問題等厳しい状況にあるが、地域循環型の資源として有効活用し経営的な視点で取り組んでどうか。

A 施設の改修や機能を高める取り組みも視野に入れ農業者に喜ばれる肥料に、そして経営的にも安定するよう施設の改良、革新を目指したい。

Q 事業の見直しの対象であり早急に結論を出していきたい。

A 熱中症対策を徹底しながら取り組んでいるが、来年度に検討していきたい。

その他の質問

- ・バイオガスサミットについて
- ・幼稚園、保育所の統合について

Q みやま診療所の病床と救急対応の再開を

A 非常に大きな課題である



日本共産党南丹市議会議員 **こうの 啓介** 議員



かつての「美山診療所」診療内容

Q 7月26日に美山の医療を守る会が要望書を提出した。市長の受け止めは。

A 現状ではまだ立っていない。

Q 現在、休業時間の診療所の対応は。

A 診療所の患者から緊急の連絡があれば、非常勤の所長である市内開業医に連絡をし、対

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染拡大について
- ・小中学校非常勤講師、職員の処遇について
- ・生理用品について

Q 美山町内で救急要請をして医療にアクセスするまで2、3時間以上かかる。救急とは言えない。一刻も早く病床を再開し救急にも対応することがあるべき姿では。

A みやま診療所は一次医療を担う施設。救急対応は非常に大きな課題である。

Q 通学環境改善のため、市営バス停に上屋の設置を

A 関係各所と連携し、条件が整えば善処していく



活緑クラブ **しもつま 康広** 議員



改善を望まれる停留所

Q バス停留所の上屋がなく、炎天下や降雨・降雪の中で学生が待っている姿をよく見る。通学環境改善のためにも設置すべきではないか。

A 設置に関してはさまざまな要件をクリアし、許可を得なければならぬ。民間事業者などと協議をし、課題を克服できる手だてがあれば関係機関・部署と連携して、前向きに取り組んでいきたい。

Q 免許自主返納制度の充実を。

A 免許自主返納制度に対する実績と内容は。平成24年度開始の制度で、延べ1084人

その他の質問

- ・指定管理施設について
- ・農畜産業の政策について
- ・獣害について

Q チケット1万円分の交付だけではなく、公共交通機関すべての料金半額程度の支援策を進めてどうか。

A 限られた予算の中で最大の効果を出すよう取り組みを進めている。市営バスに関しては申請の必要があるが、市内在住又は市内立地学校在籍の方について運賃が半額になる割引バスを発行している。また、福祉タクシーや外出支援サービスなども活用していたきたい。

Q 奨学金等、学生支援制度の導入を

A 制度化の必要性について検討を進めていきたい



学生支援制度の充実を

新誠会 **樋口 浩之** 議員



Q 安定した医療体制を構築するためには、安定した医師の確保が重要だが、医師になるためには高額な学費が必要となる。自分が生まれた環境に左右されることなく、意欲や目的意識がある学生にチャンスを広げると同時に、地域での医療従事につながる医師確保奨学金制度を導入してはどうか。

A 本市についても、奨学金の状況など詳しく調べて効果も見極めながら、制度化が必要かどうかの検討を進めていきたい。

その他の質問

- ・医療体制の長期計画について

Q 暑い中での部活動などに対する対応は

A 熱中症対策をきちんと講じながら進めている



運動会当日の朝

活緑クラブ **若井 睦巳** 議員



Q 今年の夏は過去最高の暑さであったが、夏休み中の部活動などはどのように対応したのか。

A 夏休みの部活動中、体調不良を訴える生徒がいたが、早期対応により軽症で済んだ。重症化や死亡事故を防ぐため、学校はさまざまな予防対策を行っている。熱中症警戒アラートが出た場合は、予定されている練習の可否、内容変更などを即時に判断し、保護者にメールなどを活用し連絡している。

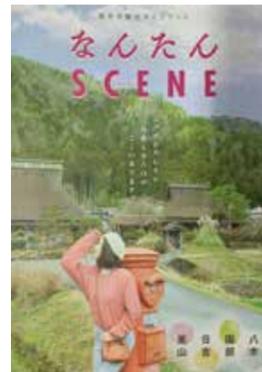
今年度の日程変更は難しいが、来年度は時期の変更などを学校運営協議会やPTAと検討していきたい。

その他の質問

- ・にゃんたん市プロジェクトについて
- ・本市の観光政策について
- ・災害時の避難について

Q 観光協会を一つにするべきではないか

A 来年度、一本化に向けた検討を要望する



ひとつの観光協会として

新風会 **塩貝 孝之** 議員



Q 観光に関わる団体への補助金はいくらか。

A 園部町文化観光協会300万円、八木町観光協会76万円、日吉町観光協会272万7千円、美山DMO1400万円、るり溪観光協会5万4千円の支出である。

Q 2年に一般社団法人園部文化観光協会が設立された。新たな補助金団体の設立には反対であったが、一つの観光協会をつくるためにという説明であったので賛成した経緯がある。市長の見解は。

A 将来、一本化することを前提として立ち上げ、それに対して一定

その他の質問

- ・将来の農業従事者確保について
- ・災害時における柔軟な学校運営について

の支援をしていく話をさせていただいた。

Q 一本化の実現可能性については。

A 早く一本化することによって、美山DMOの立場や活動を守れることになり、その成果が全市に及ぶことが本市の観光を底上げするにも大切だ。私は美山DMOの活動自体を守りたいという思いが強いということだけは伝えさせていたただきたい。

Q JR八木駅東口周辺整備事業の今後の進め方は

A 地元と十分話し合い、今後の取り組みを進める



JR八木駅東口

つなぐ **谷尻 宣雄** 議員



Q 八木駅東口周辺整備事業について市長は3月定例会で、昨年度実施された意向調査に基づき、整備手法を地元整備促進協議会役員と話し合い、事業を進めると答弁されている。本年度地元役員との話し合いの現状は。

A 八木駅東口周辺整備事業は、国道9号や府道の拡幅、駅前広場など大きな課題がある。国道や府道について、それぞれ所管する国や府に引き続き要望活動を進めていく。本年度は2回地元役員と話し合い、市からも事業手法について、地元で従来から投げかけてい

る。本年度は事業エリアの土地利用、まちづくり構想などを地元合意できるように協議を進める。

Q 地元の協議会は道路拡幅や駅前広場の整備などの促進を目的とされていたが、周辺全体の面的な整備手法等の話が市から示され困惑されていると聞く。今後地元と十分な話し合いが必要であると考えるが市長の考えは。

A 事業による立ち退きなどにより生活をされている方々の思いは非常に複雑であると思う。今後、十分な話し合いを持ち、事業を進める。

その他の質問

- ・府道竹井室河原線整備事業について
- ・行政運営について

Q 府の「新京都丹波ビジョン」への対応は

A 本市の独自性を発揮しつつ近隣市町と連携する



府の新京都丹波ビジョン

新風会 木村 裕 議員



Q 府は、本市・亀岡市・京丹波町を「京都丹波」としてくり、食や自然文化・スポーツで地域活性化を目指している。どのように対応するか。
A 8年秋に、この2市1町で全国都市緑化フェアが開催される。その推進のため2市1町で協議会が設けられ、緑化フェアの基本計画を策定していくが、本市では新規の施設等の整備でなく、るり深高原、スプリングス日吉、美山かやびきの里、中世の山城等の資源を活用し、本市の魅力在全国に発信していく。

その他の質問

- ・総合振興計画の中間点
- ・園部川の改修と本市課題

内水氾濫感知システム
Q 防災の取り組みとして、内水氾濫を感知するシステムをモデル導入する計画がされている。どのような内容か。
A 今年度、センサーのメーカーから提案を受け、実証実験に応募し、事業採択を受けた。住宅地の水位状況をセンサーで感知し、そのデータを通信ネットワークで市役所に送信する。内水氾濫の可能性を早期に察知することを期待している。
これまで内水氾濫が発生した園部町横田区、河原町区、木崎町区でセンサーを設置する予定である。

Q 屋外と併せ屋内型の遊び場の整備も必要では

A 保育所再編後の跡施設の有効利用として考える



亀岡市の屋内型の遊び場「かめまるランド」
(写真は亀岡市HPより許諾引用)

つなぐ やました 山下 秋則 議員



Q 市長は、子供の発達・発育の観点から子供の遊び場の整備は大変重要とし、「園部公園の整備に併せて検討したい」とのことであるが、取り組み状況は。
A 8年度開催予定の「全国都市緑化フェア in 京都丹波」の本市の主催場とする園部公園を、フェアの準備と併せ大型遊具の設置など子育て世代の利用しやすい公園として再整備していく。
Q 企業と連携して、子供の遊び場の整備に取り組む自治体が増えていく。

その他の質問

- ・関連施策の現状と課題、計画について

市長は、子供の発達・発育の観点から子供の遊び場の整備は大変重要とし、「園部公園の整備に併せて検討したい」とのことであるが、取り組み状況は。
A 8年度開催予定の「全国都市緑化フェア in 京都丹波」の本市の主催場とする園部公園を、フェアの準備と併せ大型遊具の設置など子育て世代の利用しやすい公園として再整備していく。
Q 企業と連携して、子供の遊び場の整備に取り組む自治体が増えていく。
A 保育所の再編ができたら、空いた施設の有効利用の一つとして考える。
亀岡市では、既存施設を屋内型の遊び場に改修し、外の遊び場との連携で、多様な年齢の子供たちの遊び場を提供されている。
天候に左右されない屋内型遊び場の整備についても検討してはどうか。
A 保育所の再編ができたら、空いた施設の有効利用の一つとして考える。

Q 学校給食共同調理場建設計画は

A 八木、園部、将来日吉も視野に調理場を統合する



学校給食共同調理場建設予定地
(園部町船岡地内)

公明党 ひらた 聖治 議員



Q 建設予定地は決まったのか。
A 調理をしてから給食を食べるまでの一定の時間を考えると八木、園部、日吉にも行きやすい場所として、川辺地区を候補地に旧川辺小学校の隣接地で府道亀岡園部線に接道している場所に決定した。
Q 川辺地区の船岡に決定された理由は。
A 開発の手続き上、一番問題なのは給排水である。これに大きな障害がないこと。一定の幅員の道路に接していることである。
Q どれぐらいの規模を想定されているか。

その他の質問

- ・国保の高額療養費について
- ・新庁舎における窓口業務について

A 1日当たり、2300食程度は作れる機能が必要だと考えている。
Q 完成までのスケジュールは。
A 本事業については、合併特例債の非常に有利な国の起債制度を活用したい。合併特例債の最終年が7年であるので、6年度中には実施設計業務を終え、7年に工事を着工し、できれば7年度中に完成させ、8年度には供用開始していきたい。

Q 畑郷の府議選投票率、廃止で34ポイント後退

A 投票所を統合された知見では11ポイントの増



投票区再編説明会資料

日本共産党南丹市議会議員団 こばやし つよき 小 毅 議員



Q 市選挙管理委員会は2021年11月、68カ所あった投票所を37カ所に減らす計画を決められた。今年4月の府議会選挙では、13カ所減らされて、55カ所になった。市役所の職員が減って、投票所を安定的に維持することができなくなってきた。この中心的理由は。府議選投票率の検証が大事だ。投票所の廃止、統合が、投票率の低下を招くことが事実として表れているのではないか。日吉町畑郷地区の投票率は74%から40%へ34ポイント後退した。日吉町で2番目に後退幅が大きかった地域は15ポイントだ。投票所を統合された知見では11ポイントの増と聞いている。

その他の質問

- ・北陸新幹線南丹通過ルートは中止しかない
- ・減らされた亀岡駅以北の列車本数の早期復元
- ・一律900円のゴミ直接搬入代は高すぎる
- ・可燃ゴミ袋料金値下げの検討を

投票率は候補者の人数、選挙の争点、天候などさまざまな要素で増減すると考えられる。選挙人がより便利で安心して投票でき、安定的で持続可能な投票所運営が行えるよう取り組んでいきたい。
投票率は候補者の人数、選挙の争点、天候などさまざまな要素で増減すると考えられる。選挙人がより便利で安心して投票でき、安定的で持続可能な投票所運営が行えるよう取り組んでいきたい。



Q 民間活力による展望・戦略でまちづくりを

A 非常に参考になる意見として具体的に検討する



新誠会 面村 好高 議員

Q 八木駅東口周辺整備や吉富駅西側開発には国道9号や府道拡幅整備が必要となる。しかし人口減少など社会情勢が急激に変化する中で、単純に国道府道の整備を要望しても実現しない。道路整備の効果として、まちづくりをどう進めるか具体的な展望・戦略が求められている。その創造を民間活力で、具体的にはプロポーザル方式で実施しては。



改良が期待される吉富駅前交差点

Q ポーザル方式は十分考えられる手法であり具体的に検討する。
A 6月議会でコストコ誘致について質問したが、子育て世代や学生からの反響が大きかった。また、8月下旬に大阪府門真市でコストコが新規オープンし、その際に日本支社長が近畿であと3、4店舗出店の意向を述べられていた。誘致には絶好の機会と思うが進展は。
A 大企業を通じて接触を試みているが実現していない。粘り強くチャレンジし続け、結果は報告する。

その他の質問

・中学校の部活動について

委員会活動報告

総務 常任委員会

8月3日、総務常任委員会所管の施設等の現状を視察するべく、管内現地調査を実施しました。

まず、完成間近の新庁舎を視察。集約した窓口、相談室や防災室の充実により、市民が利用しやすくなるを期待されます。

次に完成した八木西小学校トイレ兼倉庫を視察。体育館横に設置された清潔なトイレと倉庫は、児童や体育館利用者にとって便利なものになると思われます。

次に神吉自治会館建設用地の現場を視察。完成予想図をもとに施設の安全性や利便性について説明を受けました。

最後に、園部第二小学校内にある「園部こすもす児



完成間近の新庁舎を視察



八木西小学校トイレを視察

童クラブ」を視察。児童が快適に過ごし、支援員が安心して保育を行うためには施設の充実が必要と感じました。



Q JR山陰本線減便措置早期復元の要望状況は

A ダイヤ編成責任者に強く要望



活緑クラブ 八木 信樹 議員

Q 2月25日、本市、亀岡市、京丹波町で構成される京都丹波基幹交通整備協議会の総決起集会に150人が集い、JR山陰本線の減便措置の早期復元を求めた要望書の決議が採択されたが、その後の西日本旅客鉄道株式会社への要望状況は。
A 2月、3月、5月、7月と継続して要望してきた中、7月18日の要望時には、京都支社の会議室に大阪本社の日ダイヤ編成の責任者にお越しいただいた中で、早期復元を強く要望した。



サイバー犯罪対策の研修機会と相談強化を

サイバー犯罪対策の研修機会と相談強化を
Q デジタル化社会が進む中、子供からお年寄りまで、ネット犯罪に巻き込まれないよう未然に防ぐ対策を各関係機関やデジタルお助け隊などが連携していく必要があるのでは。
A 府内でのサイバー犯罪の相談件数が非常に増えている。市役所には、消費生活相談窓口も設置していることから、関係機関と連携し、啓発や研修の機会の提供などを進めていく。学校においても一定の注意喚起、指導の強化など教育委員会とも連携していく。

その他の質問

・指定管理先である園部町振興会社について
・指定管理先である園部町農業会社について

産業建設 常任委員会

行政視察を実施しました。

8/8 福井県若狭町

本市においても農山村地域は農業後継者、担い手不足に悩んでいます。若狭町において行政、住民、農業に関心のある企業3者が知恵と資金を出資して「都市から若者の就農・定住を促進し、集落を活性化する」ことを大きな目標として有限会社かみなか農楽舎を平成13年11月に設立。就農定住のためにインターンシップ事業、体験事業、農業生産事業、直販事業等を行っている。設立後22年を経過し、多くの若者が若狭町に移住し、集落の活性化に寄与しています。

8/9 福井県坂井市

上下水道事業を取り巻く経営環境は人口減少により、有収水量は減少傾向にあります。そのような中、課題として、経費削減努力



坂井市での研修

力、施設の老朽化による更新や人口減少と節水型社会の到来、地震対策が求められる社会、技術職員の大量退職による水道技術の継承問題等があります。
包括的民間委託のメリットとして市民サービス及び窓口サービスの向上、収納率の向上や職員の削減等が挙げられます。本市において参考にすべきことが多数ありました。

厚生常任委員会では、8月10日に園部保育所、城南保育所、園部幼稚園及びすこやか学園、さらに知井振興会託児事業の視察を行いました。

園部保育所では、園庭に園舎を増築して定員増に対応してきた経過があり、園庭や遊戯室が狭く、園児用のトイレも不足している状況が確認されました。

城南保育所も、園庭に園舎、給食室を増築してきており、給食運搬の動線に不便を来している状況でした。また園児の送迎車両の駐車スペースの確保も課題となっています。

園部幼稚園及びすこやか学園では、園児数の減少が続いており、特に幼稚園の2教室がリーススペースとなっている状況でした。

知井振興会託児事業は、旧知井小学校の一室を活用

し、みやまこども園に在籍する知井地区の3〜5歳児について、保護者のお迎えまでの間の託児事業をされています。託児スタッフも振興会で確保されています。



園部保育所の手狭な園庭



保育所・幼稚園を視察

抗議声明を公表

令和5年8月25日、北朝鮮の弾道ミサイル発射に対して、市長と議長の連名で抗議声明を発表しました。

陳情書

健康保険証の「凍結」を求める意見書提出を求める陳情書

京都市府保険医協会 理事長 鈴木 卓

要望書

非核・平和施策に関する要望書

原水爆禁止国民平和実行委員会 代表 梶川 憲

人事案件(敬称略)

人権擁護委員

池上 睦子(八木町)

木下 茂生(園部町)

池田 眞由己(八木町)

財産区管理委員会

五ヶ荘財産区管理会

楓 和宏

市長と語ろう ～ 私たちのまちづくり ～

8月24日、議会本会議場にて「市長と語ろう～私たちのまちづくり～」が行われました。今年度は、各小学校の代表7名と各中学校代表の4名が参加し、各校で進められている学校運営協議会制度(コミュニティスクール)を生かし、学校や地域で学んだことや、どんな市になってほしいかを小学校の部・中学校の部に分かれ、それぞれの特色を生かした発表・提案をされました。



小学校の部では各校テーマを決め、あたたかく優しい地域の人のことやこの町の伝えたいこと・残したい豊かな自然環境やおいしい農産物について意見を発表されました。また、本市の未来像にも触れ、未来を創造するための予算案や地域の伝統文化を引き継いでいくために考えなければならぬことなどの提案がありました。中学校の部では、各校とも今までの学び・経験を生かし、働ける場所づくり・買い物や医療体制の充実や、あいさつ運動をきっかけに地域の方が笑顔で安心して暮らせる魅力的なまちづくりの提案をされました。その一方で、無理な都市化をせず、今ある本市の良いところを生かし、ホテルなどが飛び交うふるさとを感じられるまちづくりをしては、との発表もあり、まちづくりミーティングなどにもっと生徒が参加したいといった提案がありました。各校とも、今までの学習の成果や地域への熱い思いのこもった素晴らしい発表・提案でした。



出前でおしゃべり青空議会を開催

9月23日(土)に第2回「出前でおしゃべり青空議会」を開催しました。今回は、「京都南丹大堰川フェスティバル」(八木町)の会場をお借りし、議員18人が参加して、市民の皆さんのご意見・ご要望をお聴きしました。運営手法に多くの改善すべき点がありましたので、より開かれた議会を目指し、3回目の実施に向けて取り組んでいきます。



「広報クリニック」を 広報部会が受講

8月23日「令和5年度市町村議会広報研修会」が京都市内のホテルで開催され、議会広報部会委員が参加しました。

この研修会は、議会に対する住民の理解と関心を深める努力が強く要請されていることから、議会広報の編集技術等を習得することにより、真に開かれた議会の実現に資することを目的として開催されています。

今回は「伝わる議会広報の編集ポイント」を題材に、(一社)自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏の講義を受講しました。20市町村の議会だより(広報紙)全てを映し出しながら、改善点をクリニックいただきました。さまざまな議会だよりがあり、参考にすることが数多く、有意義な研修会でした。

今回の研修を生かし、これからも広報部会全員でわかりやすく読んでいただける市議会だより「かけはし」の作成に努めていきます。



次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/26	11/27	11/28 本会議 (開会)	11/29	11/30	1	2
3	4	5	6 本 会 議 (一般質問)	7 (一般質問)	8 (一般質問)	9
10	11	12 常 任 委 員 会	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 本 会 議 (開会)	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6

※11月28日(火)午後5時までに提出された請願・陳情等は、12月定例会で取り扱われます。会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。
※本会議は、ケーブルテレビやインターネットで中継しています。

編 集 後 記

特集『頑張る人たちの取材で「美山せっけん友の会」の作業場にお邪魔しました。作業は長時間にわたって熱気を伴うものであり、その手間に驚きました。ものづくりの現場は、時間と手間を惜しんでは良いものではない、ということを改めて強く思いました。

翻って、現代社会では全てのものは効率一辺倒で、大量生産

と大量消費を一体とした「経済循環」が進められがちですが、それが環境を破壊してきた一因と考えます。

手仕事が生み出すものの価値を認めて、自然環境と共存する産業の在り方を、いま一度問い直し実践することが、より良い環境を次の世代に残していくためにも必要なことだと感じました。

次第です。
(K・K)



ご意見はこちらに

市議会だより『かけはし』 No.71
2023.11.10

■発行/南丹市議会
■編集/広報広聴委員会 広報部会
〒622-8651 京都府南丹市園部町小椋町47番地
TEL.0771-68-0059 (直通) FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.lg.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/



公式Facebook

広報広聴委員会

- 委員長/平田 聖治
 広報部長/山下 秋則
 副部長/吉田 尋子
 委員/河野 啓介 木戸 徳吉 下間 康広
 木村 裕 仲村 学
 広聴部長/塩貝 孝之
 副部長/下間 康広



本紙は環境への配慮から、森林認証紙に、ベンツパルオイルインキ(植物油)で印刷しています。